

令和6年第3回評議員会 議事要旨

1 開催年月日 令和6年11月13日(水) 午後3時26分～午後4時20分

2 開催場所 品川区立総合区民会館 大会議室(6階)

3 出席者 評議員総数 11人

出席評議員 9人

市川信之助 大倉 考裕 小口江美子

小芝 新 都丸 繁 新妻佐江子

橋本 夏代 長谷川雅一 平山 妙子

欠席評議員 2人

丹治 勝重 橋本久美子

出席理事 3人

理事長 中川原史恵 副理事長 松浦 啓雄

常務理事(事務局長) 中山 武志

出席監事 2人

斉藤 真由美 和田 正幸

4 議長 市川信之助

5 報告事項および審議事項

報告事項 報告第1号 令和6年度上半期の事業実績について

報告第2号 令和6年度上半期の中間監査結果について

審議事項 第1号議案 令和7年度予算編成方針について

6 議事の経過の要領およびその結果

定刻4分前、事務局長が、定款第19条では評議員現在数の過半数の出席により開催すると定められており、本日の出席者は9人で定足数を超過しており適法に成立している旨を告げた。次に、本年6月に選任された評議員の初めての顔合わせであるため再任、新任の順で紹介を行ったのち、評議員会に同席する役員の紹介があり、本年6月25日に井上裕之理事が、7月10日に和氣正

典副理事長が逝去された報告があり哀悼の意を表した。その後、事務局幹部の紹介を行った。続いて、定款18条の規定に基づき、出席した評議員の互選により市川信之助氏を議長に選出した。

同氏が議長席につき開会を宣した後、理事長のあいさつに続き、議長が議事録署名人として都丸繁氏と新妻佐江子氏の2人を指名し、その後議事に入った。

(1) 報告事項

報告第1号 令和6年度上半期の事業実績について

文化振興課長より説明がなされ、報告第1号は了承された。

報告第2号 令和6年度上半期の中間監査結果について

斉藤監事より以下の報告がなされ、報告第2号は了承された。

<報告内容>

10月23日に和田監事と共に、令和6年度上半期、即ち本年4月から9月までの半年間を対象に中間監査を実施した。この中間監査は、法定のものではなく、事業団としての任意の取り組みである。通常、期末決算において行われる経過勘定等の会計処理はされていないので、決算時の監査の際、提出しているような監査報告は作成をしていない。中間監査では先ほど事務局から説明があった令和6年度上半期の事業実績および関係書類、さらには帳簿、証拠書類に基づき実施した。その結果、事業運営および会計処理全般にわたり適正に執行されていることを確認した。

その際、申し上げた意見を報告する。事業の実施状況や利用料金、受講料収入において、この間、順調に伸びている傾向がみられる。特に情報発信については様々な媒体を通じて広く展開していることが事業実績などに結びついており、今後も充実を期待したいと伝えた。また、関係書類については、引き続き適正な表記を行っていくこと、事業団の財産である設備等の修繕計画の策定などについても検討していただくよう話した。

(2) 審議事項

令和7年度予算編成方針について

事務局より説明がなされ、以下の質疑が行われた。

〈評議員〉 メイプルセンターの講座はどのようにして決めているのか。

〈事務局〉 現在の実施状況や参加者のアンケート、新規講座として近傍のカルチャーセンターで人気のある講座や関心が高まっているものなどにより、各期に事務局の企画会議で検討している。

〈評議員〉 現在は参加していない方の意見や、地域における流行なども取り入れてほしい。

以上の質疑後、この賛否を諮ったところ全員意義なく第1号議案を承認した。

(3) その他

評議員より下記の発言があった。

〈評議員〉 11月26日、社会福祉法人トット基金が企画・制作した手話狂言を事業団主催できゅりあん小ホールで公演する。来年日本で開催されるデフリンピックを見据えた上で、芸術文化面からのフォローとして手話狂言を演じられることを喜んでいる。トット基金は、デフリンピックを芸術文化面からどのように支援できるかを考えており、今後も連携していきたい。

事務局より、今後予定されている公演事業やメイプルカルチャーセンター10月期の講座内容の報告があった。

議長は以上をもって議事の全部の審議および報告を終了した旨を述べ、午後4時20分閉会を宣し解散した。